

## 床柱（変木類）



北山入り節丸太 杭打ちをした後が埋まらずに、このように皮を巻き込んだ形になる杉の種類がある。枝打ちをしてから10年以上かかる。



北山面皮ナグリ柱 無節の北山磨き丸太の面を残して四角にはつり削った柱で、四方に空目が現われて美しい。材が真円に近いことが望ましいわけで、北山ならではの製品である。



あべまき くぬぎと同じ樹種だが、樹皮が厚くコルクをとるのでコルククヌギとも呼ばれる。乾湿に強く、床柱には真直ぐなものを選ぶ、桂離宮の御幸門の門柱材として使われている。



くぬぎ ドングリのなる木。淡褐色の樹皮は堅くあらい。木質は重く、皮付は茶席など床柱、中柱あるいは外廻りの桁、または土庇の柱に使われる。



つつじ 床柱用のみつつじの大木は鹿児島以南屋久島までの諸島で産する。無傷の材が最上だが、搬出の際の傷つきやすいので、むしろ傷を生かした仕立てをする。